

4-4 本人の借金と債務整理の状況

借金の有無はほぼ半数ずつ、債務整理の経験は19%

4-4-1 借金の有無

本人の初回相談2662件のうち、相談時点における借金の有無について聴き取ることができた相談は2150件(81%)であった。

借金がある人からの相談は1135件(53%)で、ない人からの相談は1015件(47%)であった。現在の借金の有無は、本人が相談行動をとる決断とは、直接的な関係はなさそうである。

なお、この分類では、相談時点における借金の有無に限定しており、過去の借金については含めていない。

表 48 借金の有無

2019年	
ある	1135(53)
ない	1015(47)
計	2150(100)

(初回・本人のみ、不明を除く、表カッコ内はパーセント)

4-4-2 債務整理経験の有無

本人の初回相談2662件のうち、相談に至るまでのいずれかの時点における債務整理経験の有無について聴き取ることができた相談は1877件(71%)であった。

そのうち、相談の時点で債務整理経験がある人からの相談は358件(19%)、債務整理経験がない人からの相談は1519件(81%)であった。約8割の相談者は、債務整理経験がなかった。

債務整理とは、多額の借金を負い、あるいは多重債務の状態に陥り、返済が困難になった際に行う法的な手続きであり、任意整理、特定調停、自己破産、個人再生の4種類がある。一般的に、弁護士や司法書士に依頼して手続きを行うことになる。

表 49 債務整理経験の有無

2019年	
ある	358(19)
ない	1519(81)
計	1877(100)

(初回・本人のみ、不明を除く、表カッコ内はパーセント)

※2019年ばちんこ依存問題電話相談事業報告書初版(2020年4月7日発行)の「4-4-2 債務整理経験の有無」の内容、表に誤りがありました。本改訂版(2021年2月18日発行)で、正しい数値に修正しております。